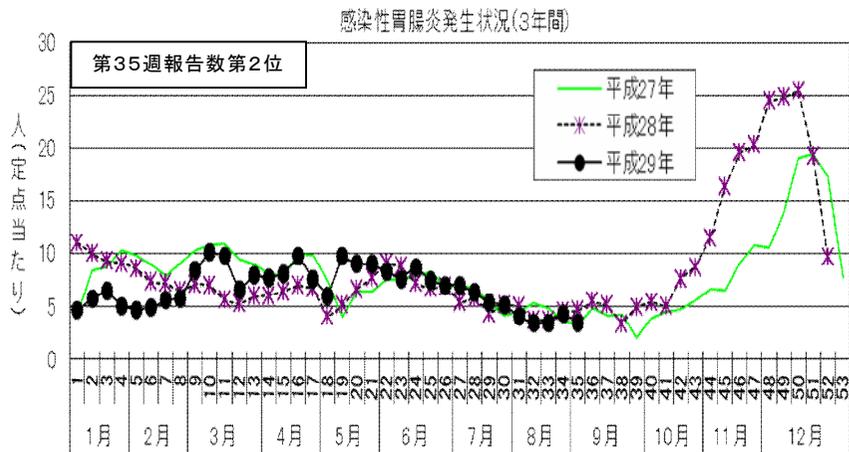
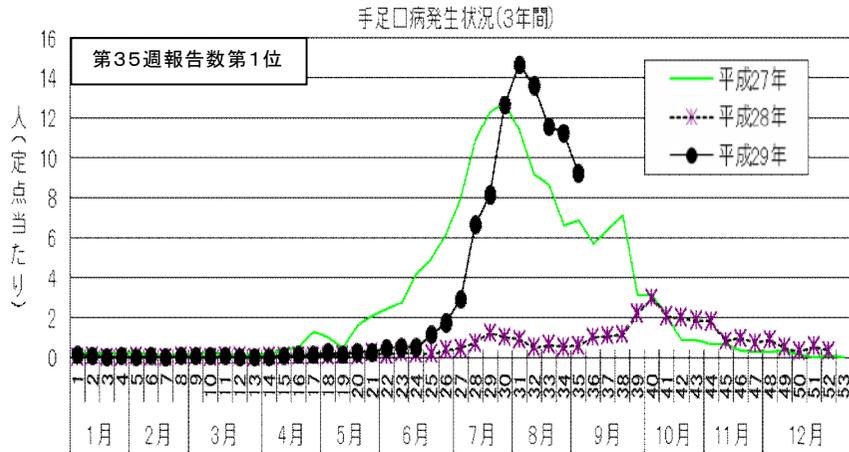


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

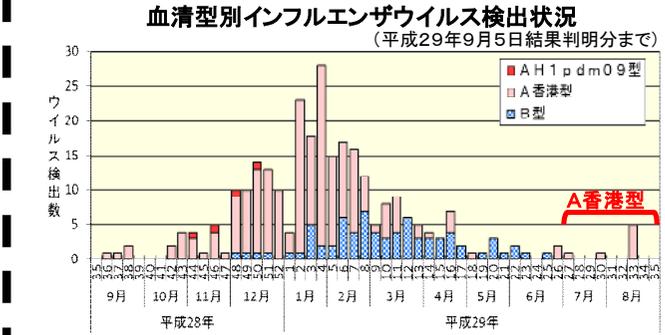
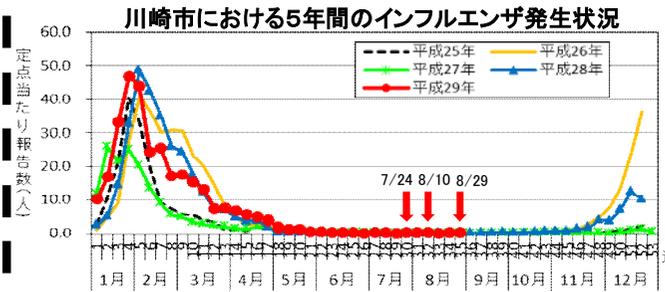
平成29年8月28日（月）～平成29年9月3日（日）〔平成29年第35週〕の感染症発生状況

第35週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。
 手足口病の定点当たり患者報告数は9.22人と前週（11.21人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.43人と前週（4.21人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は2.65人と前週（3.26人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



夏季にもインフルエンザが発生しています！

インフルエンザは、例年冬季に大きな流行がみられる感染症ですが、今年は夏季においても例年と比較して報告数が多くなっています。国外ではアジア各地で大きな流行がみられており、市内では保育園等の施設で集団感染事例が発生しています。急な発熱および風邪様症状が出た際には、早めに医療機関を受診しましょう。



A型インフルエンザリアルタイムサーベイランス
 分布マップ(平成29年9月5日 12:00時点集計)

